

『さらば一金沢― 旅だ一つ船は 石川県立う にーしーきー  
金沢離れ世界の町へ 運命背負い 今 飛びたあつうー  
かなら―ずここへ― 帰ってくると― 手を振る人おにい 笑顔で応あえー  
金沢離れ世界の町へ はるばるのぞむー 石川県立 にーしーきー』

この歌に込めたメッセージ、覚えていますか？私は、皆さんに、金沢を、石川をいったん離れることをおすすめしています。自分たちの生まれ育ったふるさとを、外から見る機会を若いうちに持ってほしいからです。そして、いつかまた、必ずここへ戻ってきてください。県内の大学に進み、留学してもいいと思います。

Think globally, but act locally. 常に世界を意識しましょう。でも、行動は、今いる場所でしかできないのです。世界のことを考えながら、ふるさとに貢献できる、そんな人になってほしいと思っています。そのためにも、「元気で、明るく、たくましく」高校生活を送りましょう。GATです。元気な心で、明るい挨拶を交わし、時間に遅れないたくましい錦生を目指してください。

今年度は、もうひとつ、目標を追加します。名付けてCGGです。今回は英語の頭文字です。キャリアのC・コミュニケーションのC・グローバルのGがキーワードです。

もう「なりたい自分」は見つかっていますか？自分の目指す将来のお仕事、キャリアは見つかりましたか？英語は何のために勉強するのでしょうか？大学入試のため？ちがいます。人とつながるためです。人とコミュニケーションを図る手段として学ぶのです。石油などの天然資源が乏しく、少子高齢化が進み、人口が縮小していくこの国は、今後、グローバルな視点で、外国の人々と協力しながら進んでいくほか、生き延びる手立てはないのです。

さあ、迷っている暇はありません。明日からまた、休校です。自分で自分の将来のキャリアのことを真剣に考え、自分でコミュニケーション力を伸ばし、自分でグローバルな人間関係を育む基礎を構築していくのです。大学に入ることを目標としてはいけません。「なりたい自分」を追い続ける一つの通過点として、大学があるのだということを忘れてはいけません。まだ見つからない人は、世のため人のため、つまり、世の中のニーズに応えることを目指してはどうでしょうか？エンジニアつまり工学部やエコノミーつまり経済学部や経営学部を志してはどうでしょうか？大学の定員が「世の中のニーズ」を物語っていることは以前お話ししましたね。ちなみに、今年の1月、私のスマホの中の資産がいくらだったか、覚えていますか？それが今は、八百万・・・コロナのバカー！ただ、私が投資している企業の中で、その株価が上昇している企業が1つだけあるんです。どこの企業だと思いませんか？富士フイルムHDといいます。なぜだかわ

かりますか？そうです。コロナウィルス退治に有効な薬ではないか、といわれている、抗インフルエンザ治療薬「アビガン」の製造ライセンスを持つ企業です。富士フイルムという企業はほんとにすごくて、アビガンだけじゃないんです。世界最小の胃カメラの開発など、工学部出身の優秀なエンジニアたちとその製品を世界中で売りまくる経済・経営学部出身の営業マンたちが集う、日本を代表するグローバルカンパニーです。もっと伝えたいことがあります、今日はここまで。また、こんなお話ししましょう。コロナが終息したら校長室にも遊びに来てください。いつも換気してお待ちしています。今年度1年、皆さんの健闘と、健康を心から祈っています。以上